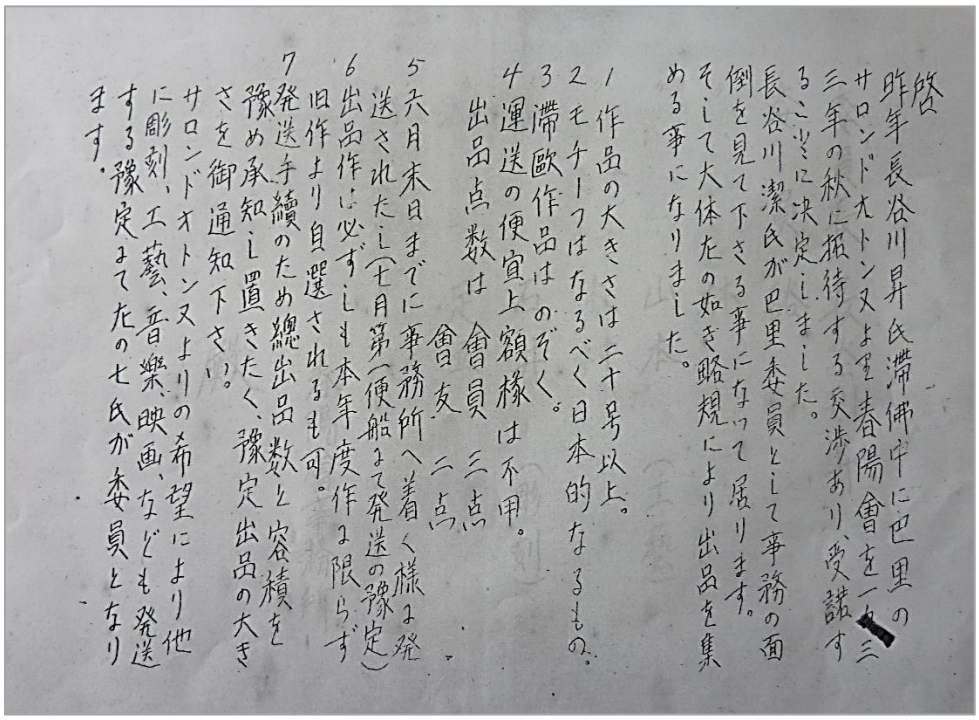
1933 18 January

昭和 8 年 1 月 18 日　春陽会会報



啓

昨年 長谷川昇氏滞佛中に巴里のサロンドオトンヌより 春陽會を一九三三年の秋に招待する交渉あり、受諾することに決定しました。

長谷川潔氏が巴里委員として事務の面倒を見て下さる事になって居ります。そして大体左の如き略規により出品を集める事になりました。

1 作品の大きさは 二十号以上。
2 モチーフはなるべく日本的なもの。
3 滞欧作品はのぞく。
4 運送の便宜上 額縁は不要。
出品点数は 会員三点
会友二点
5 六月末日までに事務所へ着く様に発送されたし。(七月第一便船にて発送の予定)
6 出品作は必ずしも本年度作に限らず、旧作より自選されるも可。
7 発送手続のため総出品数と容積を予め承知し置きたく、予定出品の大きさを御通知下さい。

サロン・ドオトンヌよりの希望により他に彫刻、工芸、音楽、映画なども、発送する予定にて左の七氏が委員となります。(続き頁無し)

昭和八年一月十八日

春陽会事務所